

# シシリー島エトナ火山の火山洞窟

Volcanic caves of Mt. Etna in Sicilly Island

本多力 (HONDA, Tsutomu NPO 法人火山洞窟学会所属 東京在住)

## 1. はじめに

シシリー島はヨーロッパプレートにアフリカプレートが沈み込む地帯にある。シシリー島の近傍にはヴルカノ島、リポリ島、ストロンボリ島などがありすべて火山島であるが爆発的噴火をする火山で沈み込み帯にある典型的な火山であるが、シシリー島のエトナ火山は例外的に玄武岩溶岩を大量に流す不思議な火山である。しかしどうもエトナ山付近は特殊なプレート構造をしているようである。

図1にエトナ山付近のプレート構造、図2にプレートの亀裂からのマグマの噴出概念図を示す。

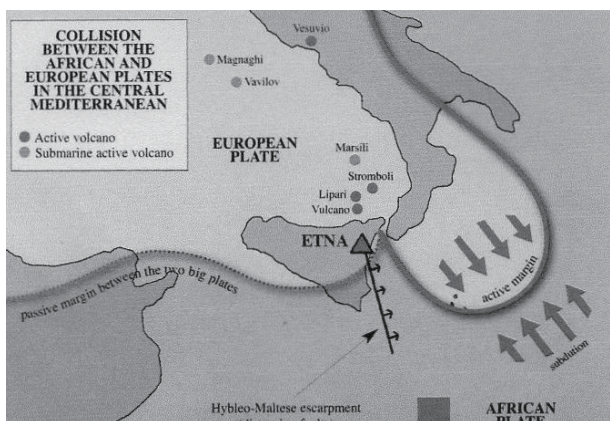


図1 エトナ山付近のプレート構造 (参考文献1より)

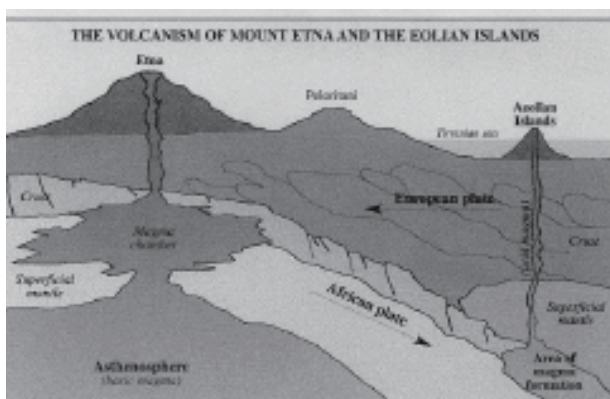


図2 プレートの亀裂からのマグマの噴出概念 (参考文献1より)

エトナ山へのアクセスはその麓にあるシシリー島パレルモ市につぐ第二の都市カタニア市からになる。カタニア市はエトナ山とともにその恵みと被害のなかで生きてきた町である。

写真1にカタニア市街のベッリーニ公園から見たエトナ山を示す。

## 2. 二重苦を負ったカタニア

カタニアはエトナ山の1669年の噴火と1693年地震により一度壊滅状態になった。カタニアの中心部デウオーモ広場にはその後改修された大聖堂がありその

中の聖具室には1669年のエトナ山の噴火とカタニアを襲った溶岩流のフレスコ画が飾られている。

写真2に大聖堂、写真3に大聖堂の聖具室の内部、写真4にフレスコ画を示す。溶岩流はカタニアを取り囲み海にまで達している。図3は18世紀に出版された版画で当時のカタニアの様子を示している。



写真1 カタニア市街のベッリーニ公園から見たエトナ山



写真2 デウオーモ広場の大聖堂



写真3 大聖堂の聖具室